

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- BLURRY OR ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLATED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY DARK BLACK AND WHITE PHOTOS
- UNDECIPHERABLE GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

**This Page Blank (uspto)**

10/030249

PCT/JP00/C4755

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

14.07.00

JP00/4755

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

E. K. U.

出 願 年 月 日

Date of Application:

2000年 4月12日

出 願 番 号

Application Number:

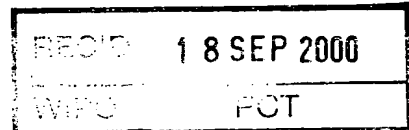
特願2000-110378

出 願 人

Applicant(s):

大王製紙株式会社

エリエールペーパーテック株式会社

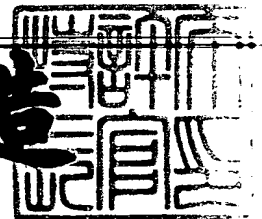


PRIORITY DOCUMENT  
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN  
COMPLIANCE WITH  
RULE 17.1(a) OR (b)

2000年 8月18日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2000-3064568

【書類名】 特許願  
 【整理番号】 P00-044  
 【提出日】 平成12年 4月12日  
 【あて先】 特許庁長官殿  
 【国際特許分類】 A61F 5/44  
 A61F 13/15

【発明者】

【住所又は居所】 栃木県塩谷郡喜連川町大字鷲宿字菅ノ沢 4 7 7 6 - 4  
 エリエールペーパーテック株式会社内

【氏名】 大野 浩

【発明者】

【住所又は居所】 栃木県塩谷郡喜連川町大字鷲宿字菅ノ沢 4 7 7 6 - 4  
 エリエールペーパーテック株式会社内

【氏名】 奈佐 晴彦

【特許出願人】

【識別番号】 390029148  
 【住所又は居所】 愛媛県伊予三島市紙屋町 2 番 6 0 号  
 【氏名又は名称】 大王製紙株式会社

【特許出願人】

【識別番号】 393010754  
 【住所又は居所】 栃木県塩谷郡喜連川町大字鷲宿字菅ノ沢 4 7 7 6 - 4  
 【氏名又は名称】 エリエールペーパーテック株式会社

【代理人】

【識別番号】 100082647  
 【弁理士】

【氏名又は名称】 永井 義久  
 【電話番号】 03-3241-8848

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 010928

特 2 0 0 0 - 1 1 0 3 7 8

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9722323

---

【包括委任状番号】 9303173

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 使い捨て吸収性物品

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 使用状態において使用面側において自由起立する脚周り用バリアーカフスを有する使い捨て吸収性物品において、

前記バリアーカフスは起立領域の製品幅方向の長さが 1 0 m m 以上であり、前記バリアーカフスの起立遠位縁近傍に接触用弾性伸縮部材を有し、前記バリアーカフスの起立領域内の起立近位縁近傍に起立用弾性伸縮部材を有し、

前記接触用弾性伸縮部材の有効伸縮長さより、前記起立用弾性伸縮部材の有効伸縮長さが短いことを特徴とする使い捨て吸収性物品。

【請求項 2】 接触用弾性伸縮部材の伸縮応力より、起立用弾性伸縮部材の伸縮応力の方が大きい請求項 1 記載の使い捨て吸収性物品。

【請求項 3】 接触用弾性伸縮部材を配置した部分の 6 0 ~ 1 5 0 % 伸長率時の応力（幅 1 5 m m、長さ 1 0 0 m m あたり）が 0. 1 0 ~ 1. 3 0 N であり、起立用弾性伸縮部材を配置した部分の 6 0 ~ 1 5 0 % 伸長率時の応力（幅 1 5 m m、長さ 1 0 0 m m あたり）が 0. 2 0 ~ 2. 0 0 N であり、前記応力は前者より後者の方が大きい請求項 1 記載の吸収性物品。

【請求項 4】 起立遠位縁において折り返して二重としたバリアーシートの基部が、製品の使用面に対して固定され、この固定部と固定されていない起立領域との境界がバリアーカフスの近位縁とされ、前記バリアーシート間に接触用弾性伸縮部材及び起立用弾性伸縮部材が伸長下で固定されている請求項 1 記載の使い捨て吸収性物品。

【請求項 5】 同種または異種の 2 枚のシートを重ねた二重のバリアーシートの基部が、製品の使用面に対して固定され、この固定部と固定されていない起立領域との境界がバリアーカフスの近位縁とされ、前記バリアーシート間に接触用弾性伸縮部材及び起立用弾性伸縮部材が伸長下で固定されている請求項 1 記載の使い捨て吸収性物品。

【請求項 6】 二重のバリアーシートの間に、防水性シートを挟んだ、請求項 4 または 5 記載の使い捨て吸収性物品。

【請求項 7】 使用状態において使用面側において自由起立する脚周り用バリヤーカフスを有する使い捨て吸収性物品において、

バリヤーカフスの起立領域の製品幅方向の長さが 1 0 m m 以上であり、

前記起立領域の長手方向両端部が製品の使用面側に対して固定され、少なくとも腹側において、前記起立遠位縁側の固定開始位置が、前記起立近位縁側の固定開始位置より、製品の長手方向の端縁側に偏位しており、

前記バリヤーカフスの起立遠位縁近傍に接触用弾性伸縮部材を有し、前記バリヤーカフスの起立領域内の前記起立近位縁近傍側に起立用弾性伸縮部材を有し、

前記接触用弾性伸縮部材の有効伸縮長さより、前記起立用弾性伸縮部材の有効伸縮長さが短いことを特徴とする使い捨て吸収性物品。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【 0 0 0 1 】

#### 【発明の属する技術分野】

本発明は、止着テープ型、パンツ型の使い捨ておむつ、あるいは、生理用ナプキン等の使い捨て吸収性物品に関し、特に好適には、吸収パッド型使い捨て紙おむつを重ねて併用する形式の使い捨ておむつに適用することができる。

##### 【 0 0 0 2 】

#### 【従来の技術】

近年、使い捨て紙おむつ、生理用ナプキン等の使い捨て吸収性物品は、防漏ギャザー、立体ギャザー、二重カフス等の防漏手段を備えたものが多く使用されている。そして、また、この種の防漏手段を備えた使い捨て紙おむつにおいて、体液の量が多く、より大きな吸収力を必要とする場合、特に、大人用のおむつとして使用する場合は、吸収性、経済性の観点から、吸収体の上にさらに補助的に、両側にバリヤーカフスを有しない吸収パッド、あるいは両側にバリヤーカフスを有するパッド型おむつを重ねて使用する利用がなされている。なお、以下において断りのない限り、紙おむつの本体の使用面側に重ねる吸収パッドやパッド型おむつを「補助パッド」と言う。

##### 【 0 0 0 3 】

#### 【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、着用時において製品紙おむつ本体の使用面に補助パッドを重ねる場合、重ねる補助パッドの吸収体の厚みが加わり、また紙おむつ本体の吸収体に対して補助パッドの吸収体が二重になることが原因で全体としての剛性が高まることにより、バリヤーカフスの自由変形が阻害され、バリヤーカフスの起立幅をいくら大きくしても、肌に密着し難くその機能が十分に発揮しないことが知見された。

---

#### 【0004】

もともと、ギャザーの伸縮力を強くすることにより肌への密着性を担保することが想定されるが、必要以上の収縮力は着用者に圧迫感を感じさせ、装着感が著しく劣るものとなるとの問題がある。

#### 【0005】

そこで、本発明の課題は、単独で用いても、補助パッドを重ねて用いても、横漏れ防止効果が高く、しかも、装着感に優れる使い捨て吸収性物品を提供することにある。

#### 【0006】

##### 【課題を解決するための手段】

上記課題を解決した本発明は次記のとおりである。

##### <請求項1記載の発明>

使用状態において使用面側において自由起立する脚周り用バリヤーカフスを有する使い捨て吸収性物品において、

前記バリヤーカフスは起立領域の製品幅方向の長さが10mm以上であり、前記バリヤーカフスの起立遠位縁近傍に接触用弾性伸縮部材を有し、前記バリヤーカフスの起立領域内の起立近位縁近傍に起立用弾性伸縮部材を有し、

前記接触用弾性伸縮部材の有効伸縮長さより、前記起立用弾性伸縮部材の有効伸縮長さが短いことを特徴とする使い捨て吸収性物品。

---

#### 【0007】

##### <請求項2記載の発明>

接触用弾性伸縮部材の伸縮応力より、起立用弾性伸縮部材の伸縮応力の方が大きい請求項1記載の使い捨て吸収性物品。



【 0 0 0 8 】

＜請求項 3 記載の発明＞

接触用弾性伸縮部材を配置した部分の 6 0 ～ 1 5 0 % 伸長率時の応力（幅 1 5 m m、長さ 1 0 0 m m あたり）が 0 . 1 0 ～ 1 . 3 0 N であり、起立用弾性伸縮部材を配置した部分の 6 0 ～ 1 5 0 % 伸長率時の応力（幅 1 5 m m、長さ 1 0 0 m m あたり）が 0 . 2 0 ～ 2 . 0 0 N であり、前記応力は前者より後者の方が大きい請求項 1 記載の吸収性物品。

【 0 0 0 9 】

（作用効果）

上記請求項 1 ～ 3 の作用効果については、後の実施の形態とともに説明した方が明瞭となると思われるので、後述する。

【 0 0 1 0 】

＜請求項 4 記載の発明＞

起立遠位縁において折り返して二重としたバリヤーシートの基部が、製品の使用面に対して固定され、この固定部と固定されていない起立領域との境界がバリヤーカフスの近位縁とされ、前記バリヤーシート間に接触用弾性伸縮部材及び起立用弾性伸縮部材が伸長下で固定されている請求項 1 記載の使い捨て吸収性物品。

【 0 0 1 1 】

＜請求項 5 記載の発明＞

同種または異種の 2 枚のシートを重ねた二重のバリヤーシートの基部が、製品の使用面に対して固定され、この固定部と固定されていない起立領域との境界がバリヤーカフスの近位縁とされ、前記バリヤーシート間に接触用弾性伸縮部材及び起立用弾性伸縮部材が伸長下で固定されている請求項 1 記載の使い捨て吸収性物品。

【 0 0 1 2 】

（作用効果）

請求項 4 及び 5 のようにバリヤーシートを二重とすることにより、防漏性が高まるばかりでなく、特にバリヤーカフスとしての形状保持性が良好となり、着用

中においてめくれなどによる漏れ防止効果が高いものとなる。

【 0 0 1 3 】

＜請求項 6 記載の発明＞

二重のバリヤーシートの間に、防水性シートを挟んだ、請求項 4 または 5 記載の使い捨て吸収性物品。

【 0 0 1 4 】

(作用効果)

この作用効果は後述する。

【 0 0 1 5 】

＜請求項 7 記載の発明＞

使用状態において使用面側において自由起立する脚周り用バリヤーカフスを有する使い捨て吸収性物品において、

バリヤーカフスの起立領域の製品幅方向の長さが 1 0 m m 以上であり、

前記起立領域の長手方向両端部が製品の使用面側に対して固定され、少なくとも腹側において、前記起立遠位縁側の固定開始位置が、前記起立近位縁側の固定開始位置より、製品の長手方向の端縁側に偏位しており、

前記バリヤーカフスの起立遠位縁近傍に接触用弾性伸縮部材を有し、前記バリヤーカフスの起立領域内の前記起立近位縁近傍側に起立用弾性伸縮部材を有し、

前記接触用弾性伸縮部材の有効伸縮長さより、前記起立用弾性伸縮部材の有効伸縮長さが短いことを特徴とする使い捨て吸収性物品。

【 0 0 1 6 】

(作用効果)

この作用効果は後述する。

【 0 0 1 7 】

【発明の実施の形態】

以下本発明を、図面に示す実施の形態によってさらに詳説する。なお、本発明の使い捨て吸収性物品としては、紙おむつのほか、ナプキンなどにも適用が可能である。また、特に、パンツ型紙おむつにも適用が可能であることは明らかであるので、以下においてはテープ式の特に大人用の補助パッド併用型使い捨て紙お

むつのみについて説明し、パンツ型紙おむつへの適用例を省略する。

#### 【 0 0 1 8 】

図 1 及び図 2 に示す紙おむつでは、不織布や多孔フィルムなどからなる長方形などの形状の透液性表面シート 1 とポリエチレンやポリラミ不織布、マイクロボイドを形成して蒸気は透過するが液は透過させない形態等からなる砂時計形状の不透液性裏面シート 2 との間に、綿状パルプ等からなる、たとえば長方形や砂時計形状など適宜形状のある程度剛性を有する吸収体 3 が介在されている。この吸収体 3 には高分子吸収性ポリマーを添加できる。吸収体 3 は吸収用の上下ティッシュペーパー 3 A, 3 B で被覆することができ、吸収要素を構成している。

#### 【 0 0 1 9 】

透液性表面シート 1 は吸収要素より幅広の長方形をなし、吸収要素の側縁より若干外方に延在し、不透液性裏面シート 2 とホットメルト接着剤などにより固着されている（この固着部分を含めて断面における固着部分を \* で示す）。

#### 【 0 0 2 0 】

紙おむつの両側部には、使用面側に突出して自由起立する脚周り用バリヤーカフス B が形成され、このバリヤーカフス B は、実質的に幅方向に連続したバリヤーシート 4 と、適宜数の実施の形態では 2 本の接触用弾性伸縮部材 5 A, 5 A、及び適宜数の実施の形態では 3 本の起立用弾性伸縮部材 5 B, 5 B, 5 B とにより構成されている。これらの弾性伸縮部材はたとえば糸ゴムや帯状ゴムなどにより構成できる。6 は背側漏れ防止用フラップで、遠位縁部に接触用弾性伸縮部材 7 A を、自由部の基部に押圧用弾性伸縮部材 7 B を備える。8 は止着テープである。

#### 【 0 0 2 1 】

さらに、バリヤーカフス B は、バリヤーシート 4 を内面側を短くして段違いに内折りして 2 重に形成され、接触用弾性伸縮部材 5 A, 5 A、及び起立用弾性伸縮部材 5 B, 5 B, 5 B をホットメルト接着剤などにより固着した状態で包んでいる。実施の形態では、折り目が遠位縁 E 1 を構成している。

#### 【 0 0 2 2 】

二重のバリヤーシート 4 の内層の幅方向外方部分は、透液性表面シート 1 の端

部に固着始端をもって不透液性裏面シート 2 表面に、バリヤーシート 4 の外層の外側部分も同じく不透液性裏面シート 2 表面に、それぞれホットメルト接着剤などにより固着されている。

【 0 0 2 3 】

その結果、二重のバリヤーシート 4 の内層の、透液性表面シート 1 への固着始端は、バリヤーカフス B の近位縁 E 2 を形成している。脚周りにおいて、この近位縁 E 2 より内側は、製品本体に固定されていない自由に起立する起立領域 Z である。

【 0 0 2 4 】

バリヤーカフス B の脚周りにおける起立領域 Z の製品幅方向の長さ L は 1 0 m m 以上、特に紙おむつの場合には 3 0 ～ 8 0 m m とするのが望ましい。

【 0 0 2 5 】

他方、図 1 に示すように、長手方向端部におけるバリヤーシート 4 とこれを除く製品との固定関係について着目すると、起立領域 Z のバリヤーシート 4 の長手方向両端部が製品の使用面側に対して、具体的に実施の形態では背側においては背側漏れ防止用フラップ 6 及び透液性表面シート 1 上にホットメルト接着剤により固定され、腹側においてはフラップが設けられていないので、透液性表面シート 1 上に直接ホットメルト接着剤により固定されている。

【 0 0 2 6 】

そして、特に図 1 に網点でホットメルト接着剤の固定部位 F を示すように、腹側において、起立遠位縁 E 1 側におけるバリヤーシート 4 の固定開始位置 f 1 が、起立近位縁 E 2 側の固定開始位置 f 2 より、製品の長手方向の端縁側に偏位している。背側におけるバリヤーシート 4 の固定開始位置 f 3 は、製品の長手方向の端縁に対して平行であり偏位関係にはない。

【 0 0 2 7 】

かかる関係の下で、バリヤーカフス B の起立遠位縁 E 1 近傍に接触用弾性伸縮部材 5 A、5 A が配置され、バリヤーカフス B の起立領域 Z 内の起立近位縁 E 2 近傍側に起立用弾性伸縮部材 5 B、5 B、5 B が配置されている。

【 0 0 2 8 】

そして、接触用弾性伸縮部材 5 A, 5 A については、ほぼ  $f_1$  と  $f_3$  との長さ部分が、起立用弾性伸縮部材 5 B, 5 B, 5 B については、ほぼ  $f_2$  と  $f_3$  との長さ部分が収縮するように、伸長下でバリヤーシート 4 にホットメルト接着剤により固定されている。したがって、接触用弾性伸縮部材 5 A, 5 A の有効伸縮長さより、起立用弾性伸縮部材 5 B, 5 B, 5 B の有効伸縮長さが短いように構成されている。

## 【0029】

図 2 の上段は、紙おむつを長手方向に伸長した状態であるが、装着時には、図 2 の下段に図示するように、紙おむつが前後方向に舟形に体に装着されるので、そして各弾性伸縮部材 5 A, …及び 5 B…の収縮力が作用するので、製品の前段は図 2 の上段と同様の形態を保持したまま、脚周りでは、各弾性伸縮部材 5 A, …及び 5 B…の収縮力によりバリヤーカフス B が起立する。

## 【0030】

このとき、サイドフラップ部を変形させ持ち上げ、また若干吸収体 3 も変形させつつ持ち上げ、深いポケット空間を形成する。

## 【0031】

しかも、この持ち上げ状態で、起立用弾性伸縮部材 5 B, 5 B, 5 B の強い収縮力がバリヤーカフス B 自体に作用するから、バリヤーカフス B がほぼ垂直に起立するように作用する。同時に、接触用弾性伸縮部材 5 A, 5 A は弱いながらその収縮力によりバリヤーカフス B を起立させる。しかるに、接触用弾性伸縮部材 5 A, 5 A の収縮力は弱いとしても、起立用弾性伸縮部材 5 B, 5 B, 5 B によるバリヤーカフス B の起立力が大きいので、全体としてバリヤーカフス B の起立が確実に確保される。そして、接触用弾性伸縮部材 5 A, 5 A の収縮力は強くないので、着用者の肌への過度の圧接がない。

## 【0032】

さらに図 5 によって概念的なバリヤーカフスの起立態様を補足的に説明すると、接触用弾性伸縮部材 5 A, 5 A の有効伸長長さが長く、その収縮力は弱いのに対して、起立用弾性伸縮部材 5 B, 5 B, 5 B の有効伸長長さが短く、その収縮力は強いので、長手方向中心に向かう収縮力が近位縁側が遠位縁側より大きい

ら、非伸長自由下に置いた紙おむつのバリアーカフス部分を側方から見ると、（ A ）図のように、あたかも扇紙形状に起立するようになる。その結果、着用者の装着時には（ B ）図のように、遠位縁において前後側が弱く中心側が比較的強く脚周りに接触するので、他方で遠位縁において前後側が小さく中心側が比較的大きく起立して脚周りに接触するので、特に遠位縁の中心側から液漏れが生じ易いことに適確に対処できる。

### 【 0 0 3 3 】

本発明の形態によると、バリアーカフス B の起立が確実に確保されるので、図 6 に示すように、補助パッド 1 0 を使用面側に重ねて配設したとしても、バリアーカフス B の起立が確保され、これが寝たり反り返ったりすることなく、補助パッド 1 0 を確実に包み込むことができる。

### 【 0 0 3 4 】

他方、図 1 に網点でホットメルト接着剤の固定部位 F が示されているように、腹側においては、バリアーカフス B の端部の固定態様を工夫してある。すなわち、図 4 に示すように、端部側の 4 A 部では長手方向端部であるのでバリアーカフス B の遠位縁の起立高が小さく、かつバリアーカフス B の基部は固定部位 F の存在により拘束されている。これに対して、中央側の 4 B 部では、固定部位 F の存在がないから、起立用弾性伸縮部材 5 B、5 B、5 B によりバリアーカフス B が高く起立しようとする。しかるに、端部側の 4 A 部においてバリアーカフス B の遠位縁の起立高が小さいので、中央側の 4 B 部におけるバリアーカフス B の遠位縁に対して、押え付けるように作用し、その結果、図 4 の下段に示すように、バリアーカフス B は、その高さ方向中間部を外方に膨らませながら起立するようになる。これにより、バリアーカフス B のポケットが形成され、補助パッド 1 0 の包み込みも確実なものとなる。

### 【 0 0 3 5 】

ところで、バリアーシートの材料としては、通気性及び液不透過性のプラスチックフィルムやシリコン処理などによる撥水性の不織布を利用できる。また、図 7 に示すように、液の透過を確実に防止するために、撥水性の不織布または撥水性を有しない不織布にプラスチックフィルム等からなる防水性シート 7 C を介在

させるとよい。好ましい不織布としてはメルトブローン方式で製造したポリプロピレン不織布がより好適である。坪量として $5 \sim 30 \text{ g/m}^2$ の厚さのシートを袋綴じしたような形態に接着し、袋状の端縁を自由端とする。弾性部材としては、天然ゴム、合成ゴム、ポリウレタン等からなる糸状体複数本として、または帯状体とすることができる。実施の形態では、5B、5Bの強い収縮力がバリアーカフスB自体に作用するから、バリアーカフスBがほぼ垂直に起立するように作用する。同時に、接触用弾性伸縮部材5Aとして560デニールウレタン糸2本を280%伸長状態で、長さ方向的650mmに渡って設置し、起立用弾性伸縮部材5Bとして560デニールウレタン糸3本を約5mm間隔で280%伸長状態で、長さ方向的420mmに渡って設置した。

## 【0036】

テープ式おむつの装着時、バリアーカフスBにおける接触用弾性伸縮部材5A及び起立用弾性伸縮部材5Bの伸長率はそれぞれ60~150%変化するが、その時の伸長応力は、接触用弾性伸縮部材5Aが0.29~1N好ましくは0.39~0.90N、起立用弾性伸縮部材5Bが0.39~1.50N好ましくは0.49~1.38Nであれば、着用者は圧迫感を感じることなくまたレッグ周囲部に隙間を生じることがなく、優れた漏れ防止性能を発揮することができる。上述した実施の形態では、接触用弾性伸縮部材5Aの60~150%伸長率時の応力は0.39~0.90N、起立用弾性伸縮部材5Bの60~150%伸長率時の応力が0.49~1.38Nとなっている。

## 【0037】

本発明はバリアーカフスを有する生理用ナプキン等をも包含するので、これらをも考慮すると、接触用弾性伸縮部材を配置した部分の60~150%伸長率時の応力（幅15mm、長さ100mmあたり）が0.10~1.30Nであり、起立用弾性伸縮部材を配置した部分の60~150%伸長率時の応力（幅15mm、長さ100mmあたり）が0.20~2.00Nとされることが望ましい。

## 【0038】

上記の形態では、背側にのみ漏れ防止用フラップ6を設けたが、腹側にも設けることができるとともに、これらを設けないこともできる。また、必要ならばバ

リヤーカフス B より幅方向外側のサイドフラップ部分に長手方向に沿って弾性伸縮部材を設けてガスケットカフスを構成することもできる。

【 0 0 3 9 】

【発明の効果】

以上の通り、本発明によれば、単独で用いても、補助パッドを重ねて用いても、横漏れ防止効果が高く、しかも、装着感に優れたものとなる。

---

【図面の簡単な説明】

【図 1】

使い捨て紙おむつの一部破断平面図である。

【図 2】

2 - 2 線矢視図である。

【図 3】

3 - 3 線矢視図である。

【図 4】

4 A - 4 A 及び 4 B - 4 B 線矢視図である。

【図 5】

バリヤーカフスの起立状態の説明図である。

【図 6】

補助パッドの配設形態の横断面図である。

【図 7】

他の実施の形態の横断面図である。

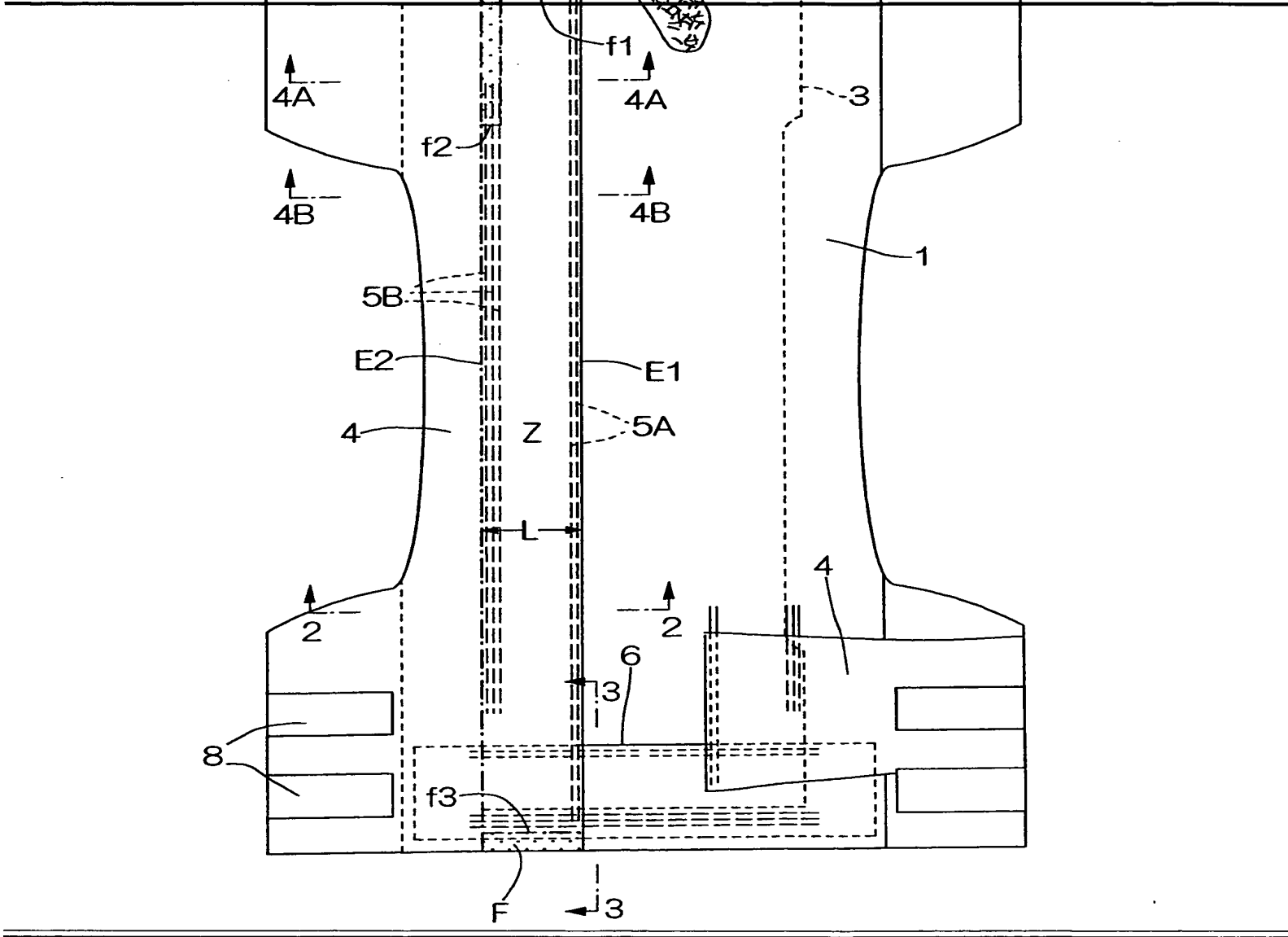
【符号の説明】

1 … 透液性表面シート、2 … 不透液性裏面シート、3 … 吸収体、4 … バリヤーシート、5 A … 接触用弾性伸縮部材、5 B … 起立用弾性伸縮部材、6 … 背側漏れ防止用フラップ、8 … 止着テープ、B … バリヤーカフス、E 1 … 遠位縁、E 2 … 近位縁、F … 固定部位、Z … 起立領域、F 1, F 2, F 3 … 固定開始位置。

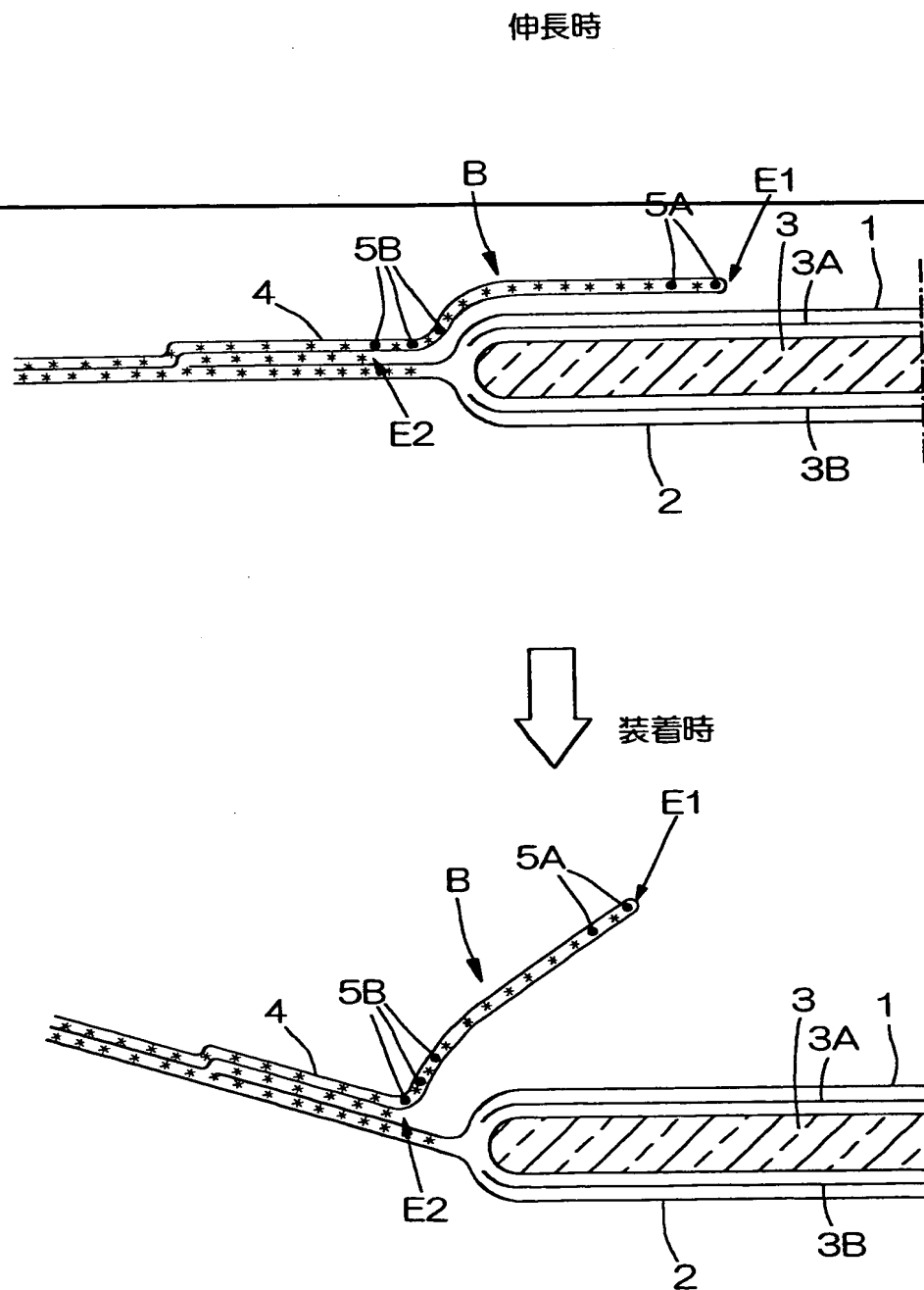
---



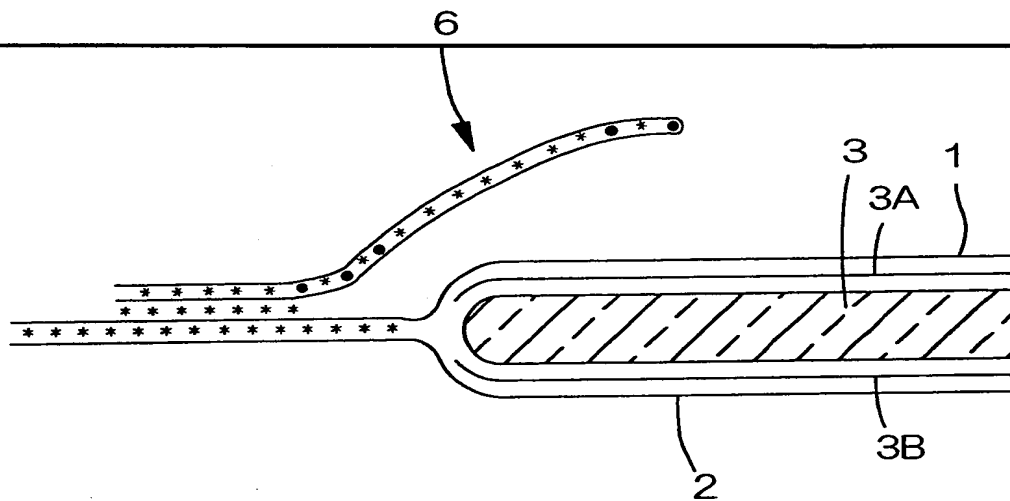
【图 1】



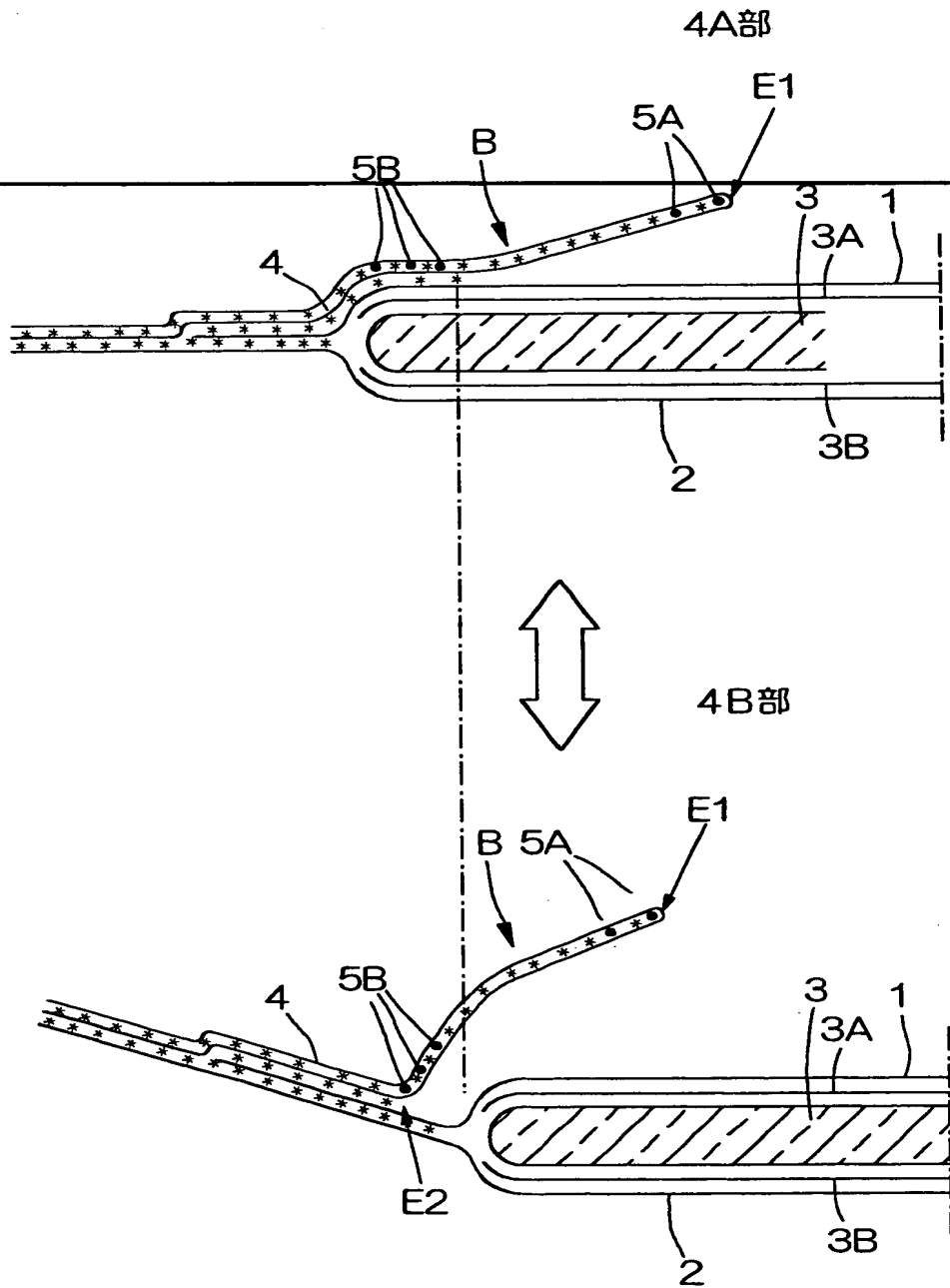
【図 2】



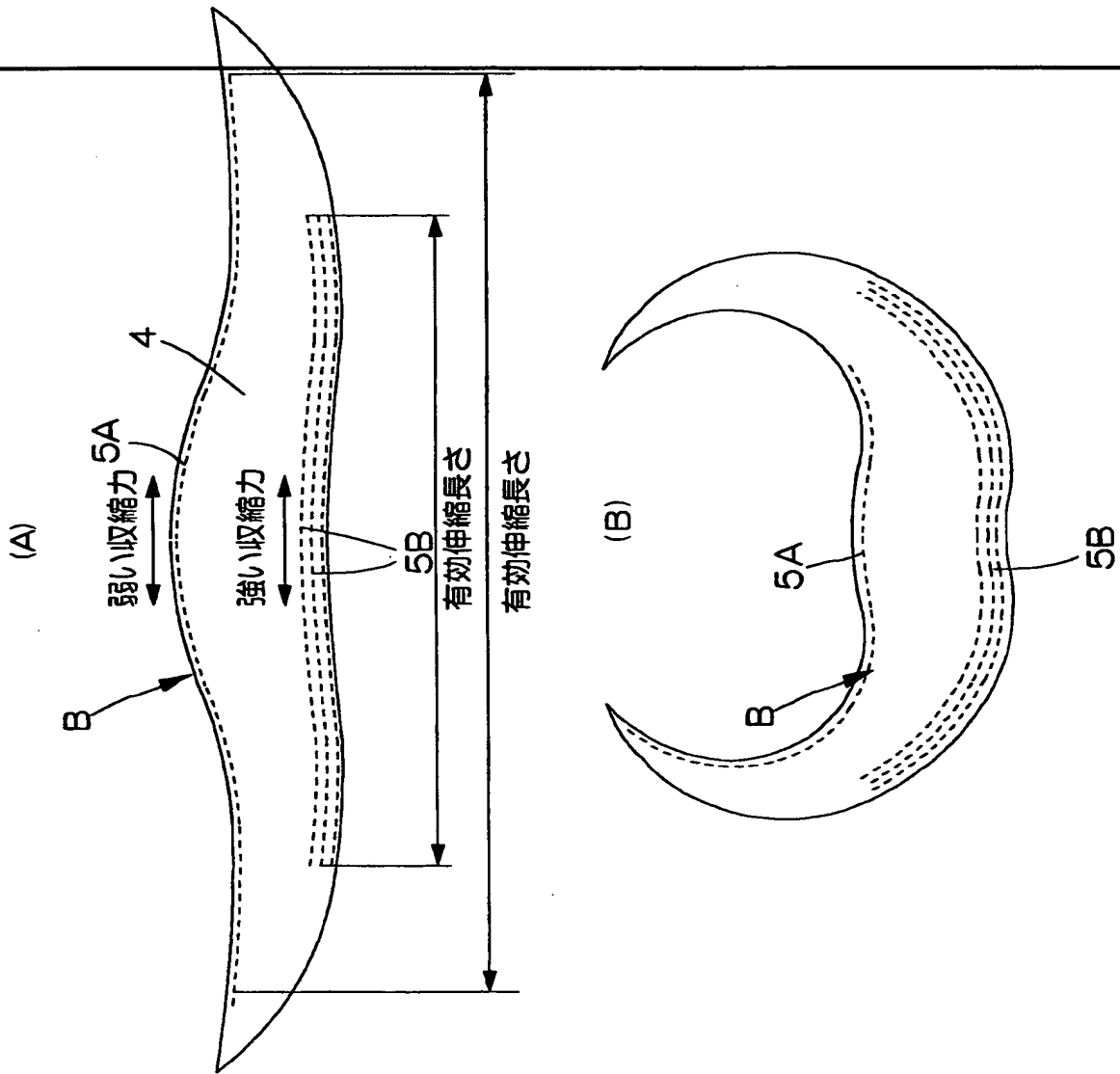
【図 3】



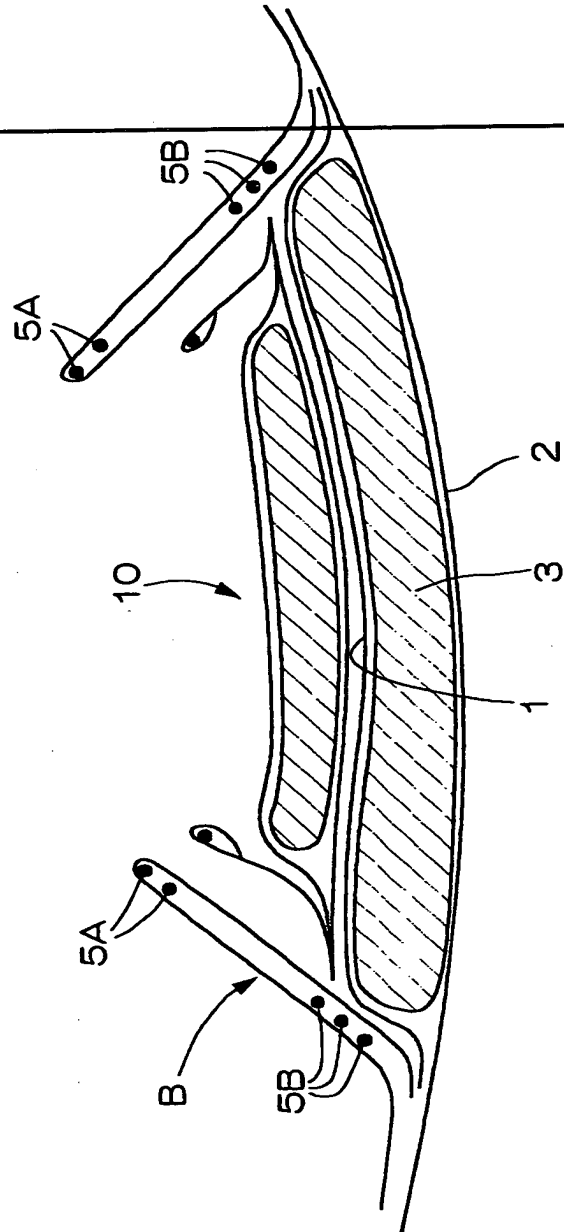
【図4】



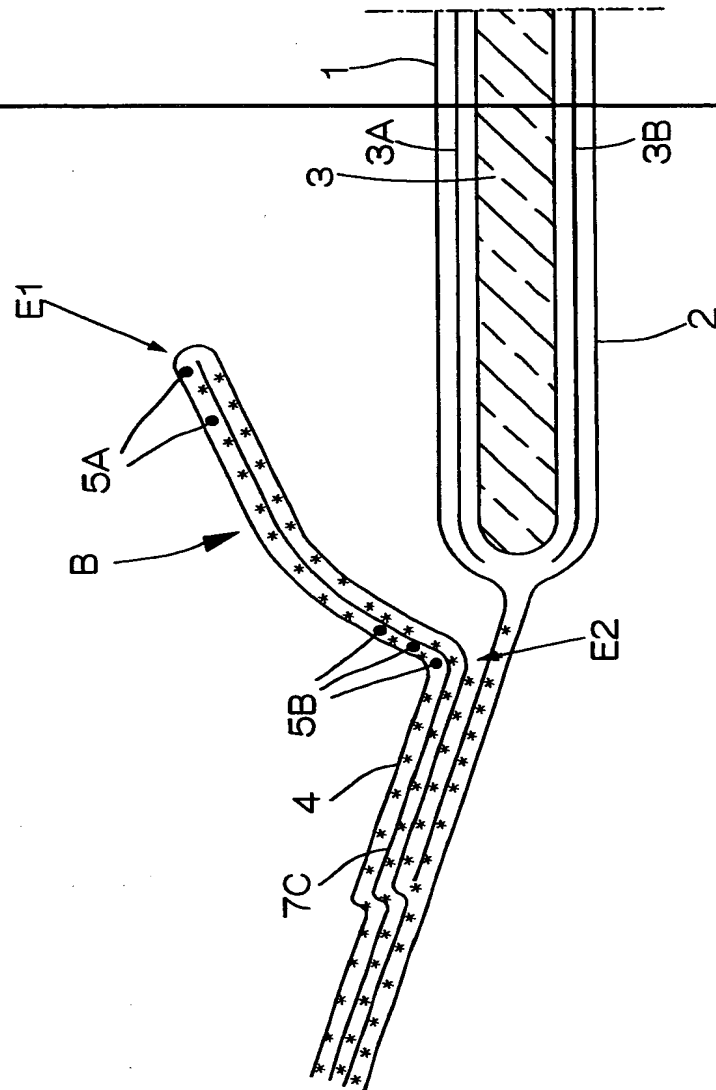
【図 5】



【図6】



【図7】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 単独で用いても、補助パッドを重ねて用いても、横漏れ防止効果が高く、しかも、装着感に優れるものとする。

【解決手段】 バリヤーカフスは起立領域 Z の製品幅方向の長さが 1 0 m m 以上であり、前記バリヤーカフスの起立遠位縁 E 1 近傍に接触用弾性伸縮部材 5 A を有し、前記バリヤーカフスの起立領域 Z 内の起立近位縁 E 2 近傍に起立用弾性伸縮部材 5 B を有し、接触用弾性伸縮部材 5 A の有効伸縮長さより、起立用弾性伸縮部材 5 B の有効伸縮長さが短い。

---

【選択図】 図 1



認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 1 1 0 3 7 8
受付番号	5 0 0 0 0 4 6 1 4 6 8
書類名	特許願
担当官	小菅 博 2 1 4 3
作成日	平成 1 2 年 4 月 1 4 日

---

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	390029148
【住所又は居所】	愛媛県伊予三島市紙屋町 2 番 6 0 号
【氏名又は名称】	大王製紙株式会社

【特許出願人】

【識別番号】	393010754
【住所又は居所】	栃木県塩谷郡喜連川町大字鷺宿字菅ノ沢 4 7 7 6 番地 4

【氏名又は名称】	エリエールペーパーテック株式会社
----------	------------------

【代理人】

申請人

【識別番号】	100082647
【住所又は居所】	東京都中央区日本橋本町 4 丁目 3 番 4 号 東海日 本橋ビル 4 階 永井国際特許事務所
【氏名又は名称】	永井 義久

---

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[390029148]

---

1. 変更年月日	1990年11月27日
[変更理由]	新規登録
住 所	愛媛県伊予三島市紙屋町2番60号
氏 名	大王製紙株式会社

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [ 3 9 3 0 1 0 7 5 4 ]

---

1. 変更年月日	1 9 9 3 年 4 月 1 3 日
[変更理由]	新規登録
住 所	栃木県塩谷郡喜連川町大字鷺宿字菅ノ沢 4 7 7 6 番地 4
氏 名	エリエールペーパーテック株式会社

---

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**